

# ポリマー改質Ⅱ型密粒ギャップアスファルト混合物

## 特記仕様書

### 第1条 総則

#### 1. 1 目的

本特記仕様書は、名古屋市緑政土木局が所管するアスファルト舗装工事に適用する。

#### 1. 2 適用

本特記仕様書に記載されていない事項については、設計図書、「名古屋市緑政土木局土木工事標準仕様書」（以下仕様書と呼ぶ）、舗装設計施工指針及び舗装便覧を適用する。

#### 1. 3 アスファルト混合物の事前認定審査

アスファルト混合物事前認定審査制度の認定を受けた混合物については、「仕様書」及び「請負工事品質管理基準」による。

#### 1. 4 その他

その他、不明事項については本市監督員と協議するものとする。

### 第2条 使用材料

#### 2. 1 バインダー

改質アスファルトはゴム・熱可塑性エラストマー入りアスファルト（ポリマー改質Ⅱ型）とし、標準的性状は仕様書・舗装設計施工指針及び施工便覧に示されているとおりである。

#### 2. 2 骨材

使用する粗骨材、細骨材およびフィラーの品質は仕様書に準拠するが、特に粗骨材については均等質、清浄、強硬で耐久性があり、細長いまたは、扁平な石片、ごみ、泥、有機物などを有害量含んではならない。

### 第3条 アスファルト混合物

#### 3. 1 配合設計

ポリマー改質Ⅱ型密粒ギャップアスコン(13)の標準的な粒度範囲を表-1に示す。加熱アスファルト混合物の粒度及びアスファルト量の決定に当たっては、配合設計を行い監督員の承諾を得なければならない。

表－1 粒度範囲

ふるい目 呼び寸法		粒度範囲
		最大粒径(13)
通過百分率 (%)	26.5mm	
	19.0mm	100
	13.2mm	95～100
	4.75mm	35～55
	2.36mm	30～45
	0.60mm	20～40
	0.30mm	15～30
	0.15mm	5～15
	75μm	4～10
アスファルト量(%)		4.5～6.5

### 3.2 混合物の目標値

混合物の目標値を表－2に示す。

表－2 混合物の目標値

項目	目標値
空隙率(%)	3～7
飽和度(%)	65～85
安定度(kN)	7.35
フロー値(1/100cm)	20～40
動的安定度(DS)	3,000以上
マーシャル突固め回数	75

(注) 試験方法は「舗装調査・試験法便覧」に準拠する

### 3.3 現場配合

室内配合の結果で決定した配合の混合物を使用する混合所にて試験練りを行い、マーシャル試験及び動的安定度試験を実施しなければならない。

実施した結果、規格値を満足しない場合には、骨材粒度またはアスファルト量の修正を行わなくてはならない。

最終的な配合(現場配合)の決定にあたっては、本市監督員の承諾を得るものとする。

### 3.4 これまでに実績がある場合

これまでの実績とは、過去1年以内にプラントから生産され使用した実績又は定期試験によるもので、内容については仕様書による。

#### 第 4 条 タックコート

タックコートは、設計図書で指定する材料とする。

#### 第 5 条 舗 設

土木工事標準仕様書に準じて行うものとするが、舗設にあたっては、所定の機能を失うことのないよう、十分検討した作業手順で行わなければならない。

敷き均し及び締固めの目標温度については、使用するバインダーによって異なるため、主任技術者はバインダーの製造元の説明を聞き、十分検討した後、本市監督員の承諾を得て目標温度を決定する。

#### 第 6 条 品質管理・品質検査

表－ 2 に示す品質管理・品質試験項目の試験頻度は、土木工事標準仕様書による。

以上